

## JA南さつまと人事交流



10月7日から11日、鹿児島県のJA南さつまの職員4人が当JAを訪れ、人事交流を行いました。

同JAと当JAは、平成25年に「北と南の交流協定」を締結しており、JA南さつまの職員が当JAを訪れたのは4回目です。

参加した職員は、平賀地区での農作業体験や施設巡回、各部門との意見交換などを通じて、当JAの農作物や事業内容、取り組みについて学びました。



りんごを収穫するJA南さつまの職員



生産者を激励する奈良組合長

## 常勤役員のリんご園地現地督励



JA常勤役員は10月25日、各地区のリんご園地で現地督励を行い、晩生種りんごの収穫に取り組む生産者を激励しました。

平賀地区の園地を訪れた奈良寧組合長は「現在、市場からは早生ふじについて注文が殺到していますが、要望に添えられていない状況です。市場の要望に 대응できるように、りんごを集めて対応していきたいと考えておりますので、少しでも多くJAへの入庫をよろしくお願いいたします」と述べました。

## 常盤地区良食味米競技会



ときわ良質米生産部会（三浦浩二部会長）は10月25日、常盤支店で良食味米競技会を開き、令和6年産米の審査を行いました。部会員9人が出席し、「青天の霹靂」「まっしぐら」「はれわたり」などの玄米サンプル24点（1点300g<sup>2</sup>）を審査しました。

審査結果は、来年1月に開く同部会通常総会で発表され、上位4位が表彰される予定です。



目視で品位鑑定を行う部会員

